

# 「国立公文書館創立 40 周年」・「国際アーカイブズの日」記念講演会及び平成 23 年度全国公文書館長会議を開催

国立公文書館

【「国立公文書館創立 40 周年」・

「国際アーカイブズの日」記念講演会】

平成 23 年 6 月 9 日、東京都において、「国立公文書館創立 40 周年」・「国際アーカイブズの日」記念講演会を開催しました。

「国際アーカイブズの日」記念講演会は、平成 19 年 11 月に、国際公文書館会議（ICA）（1948 年 6 月 9 日、ユネスコの支援を得て設立）が設立 60 周年を記念して、6 月 9 日を「国際アーカイブズの日」と定め、加盟各国において記念行事等の開催を呼びかけてきたことに呼応し、平成 20 年度から開催しています。また、今年は国立公文書館が昭和 46 年（1971）7 月に設立されて 40 周年となるため、これを併せて記念する講演会としました。

講演会には、国及び地方が設置する公文書館、内閣府、アーカイブズ関係機関協議会構成員等から約 120 名の参加がありました。

講演会の冒頭、当館高山館長から、去る 3 月 11 日に発生した東日本大震災で被災された方々へのお見舞いと、被災資料類の修復等に関する助言や協力・支援を行う旨表明しました。続いて、講演会の開催経緯や当館創立 40 周年とこれまでの取組等について説明しました。加えて、「当館が創立 40 周年を迎えたこと、また、本年 4 月に公文書管理法が施行されたことを踏まえ、このような節目となる機会に、国と地方、現用と非現用文書、さらには公的部門と民間部門を問わず、我が国の文書管理の在り方、アーカイブズの将来の向かうべき方向、あるべき姿について、大いに議論していただきたい」とした上で、「今回が第 4 回目となる「国際アーカイブズの日」が、わが国アーカイブズの歴史に確かな足跡を残す一日となることを確信す

る」旨発言しました。

次に、アーカイブズ関係機関協議会を代表して高山館長から、日本経済新聞社の松岡資明氏に、長年の公文書管理に関する取材執筆活動の労をねぎらうという趣旨から、感謝状を贈呈しました。

続いて、筑波大学の大濱徹也名誉教授から「国立公文書館創立 40 周年にあたって」と題した講演が行われ、引き続き、東京大学大学院の宇賀克也教授から「『公文書等の管理に関する法律』の施行にあたって」と題した講演が行われました。

その後、当館山崎理事をコーディネーターとして、両講師と参加者との間で活発な意見交換が行われました。

【平成 23 年度全国公文書館長会議】

平成 23 年 6 月 9 日、東京都において、平成 23 年度全国公文書館長会議を開催しました。

この会議は、公文書館法の円滑な運用及び歴史資料として重要な公文書等の適切な保存・利用を図るため、国及び地方公共団体が設置する公文書館の館長等の参集を求め、全国の公文書館等が当面する諸問題についての協議を行うとともに、相互の緊密な連絡を図ることを目的として、平成元年から開催しています。

今年度は、「国立公文書館創立 40 周年」・「国際アーカイブズの日」記念講演会と併せて同日に開催しました。

会議には、国及び地方が設置する公文書館、公文書館設置を検討している地方公共団体等から、約 80 名が参加しました。

会議では、「公文書館を巡る諸問題に関する意見交換」として、「公文書管理法施行への対応につい

て」、「東日本大震災への対応について」等の議題に関し、当館等から報告をし、出席者との意見交換を行いました。

まず、公文書管理法施行への対応について、当館から、公文書管理法施行に当たっての利用等規則の作成やこれに伴う様々な運用の整備、同法施行以来2ヶ月の利用実績等について報告しました。

次に、東日本大震災への対応について、当館でとりまとめた各公文書館の被災状況や震災への対

応について説明し、併せて、福島県歴史資料館と茨城県立歴史館から詳細な報告がなされました。

さらに当館から、今年設立10周年を迎えるアジア歴史資料センターの現状と課題について説明したほか、2011年EASTICA総会及びセミナー、研修等に関するアンケート結果について説明しました。

最後に、次回の館長会議について、来年度においても東京都において開催することを申し合わせ、散会しました。



記念講演会館長挨拶



全国公文書館長会議風景